

令和2年度 **HIGASHI** 学校経営・運営ビジョン

福島県立福島東高等学校



創造 協調 躍進
文武両道

本校の役割と学校経営の方針

本校は県立高校進学指導重点校です。創立以来「文武両道」を実践し、毎年、国公立大学への合格者数が100名を超え、卒業生は各界で活躍するなど、地域社会に欠くことのできない人材を輩出してきました。

本校の使命は「豊かな人間性を備え、新たな知や価値を創造していく」人材の育成にあります。そのために本校には、生徒の知的好奇心を刺激し学ぶ喜びが実感できる質の高い授業を始めとして、能力を最大限に伸ばし活躍の場が広がる部活動や豊かな人間性を育み達成感を味わうことができる学校行事があります。

本校に入学してくる高い志をもった生徒たちと、生徒のより良い成長を願う教職員が一丸となって、本校での豊かで深い学びが実践できる環境を整えていきます。

校長 二瓶 晃一

重点① 学びの充実

♪♪学ぶことは日々を新しくすること

○シラバスに則り、「対話」型の魅力ある授業で深い学びを実現し、生涯にわたって主体的に学ぼうとする力を育てる。

○新学習指導要領にもとづく教育課程の更なる充実を図る。

○「**大学進学のための学力向上推進事業**」(県事業)を活用し、学校全体で計画的な進路指導に取り組む。

○「進路情報センター」としての進路指導室からの情報提供を充実させる。

【指標】国公立大学合格者100名・大学等進学85%、家庭学習時間2時間以上90%(1・2学年)
偏差値55以上50名(数学科)、3力年の指導方針の練上げ・資格検定受験奨励(英語科)
課題の精選、実験・実習・ICT教材の充実(理科・芸術科・家庭科・情報科)
主体的な学び満足度90%

重点② 体育文化活動の充実

♪♪はげしい心美しくせよ青春時代

○生涯にわたって芸術やスポーツ、ボランティア活動に取り組もうとする姿勢を育てる。

○学習と部活動が両立できる環境を整備し、家庭学習時間を確保する。

【指標】部活動継続率90%(1・2学年)、授業・部活動中の事故防止

全国・東北での活躍(全部活動)、新体力テストA級前年比5%向上(保健体育科)
「文武両道」の満足度90%

重点③ キャリア教育の充実

♪♪顔を上げてわれら開かれた道を行く

○社会や文化、環境等への興味関心を高め、総合的なコミュニケーション力と生活力を育てる。

・共感できる心性 ・論理的に話し記述する知性 ・感じ考えたことを表現する身体性

○自己の生き方を考える多様な機会を用意し、夢に向かって努力し続ける校風を磨く。

○スクールカウンセラーとの連携等により教育相談を充実させ、自他の存在(命)を大切に
生徒を育てる。

○場に応じた着こなし・挨拶の励行・情報モラルの指導を充実させる。

○自転車通行ルールに関する指導を充実させる。

○健康教育(歯・口腔の健康増進、性・食・環境・衛生等の指導)を充実させる。

【指標】課題発見・課題解決力の涵養(全学年)、交通事故ゼロ、年間皆勤者300名

表現・鑑賞の推進(芸術科)、いじめ防止対策の計画的な推進

清掃奉仕活動の充実(厚生部・生徒指導部)、日常的に新聞を読む生徒80%(3学年)

読書年間5冊以上350名(全学年)、図書貸出年間3000冊以上(国語科)、図書館年間入館

者14,000人以上(教務)、長期休業中の読書レポート5冊以上(国語科)

「**主権者教育**」をとおして社会への関心意欲を高める。

歯科治療率100%(厚生部)、1学年の朝食摂取率100%(家庭科)

重点④ 情報発信・共有、施設の活用

♪♪今日は明日の歴史 福島東高

○「東高見学会」やHPを充実させ、「東高の教育」をアピールする。

○授業力向上のための授業公開、学校事故防止のための研修など、質の高い教育を実践するための情報共有を進める。

○火災、自然災害等に対する危機管理体制を整備し、生徒と東高の歴史を未来に繋ぐ。

【指標】「東高見学会」参加者900名以上、年間HP閲覧数5万件以上(教務)、緊急連絡(mai l)の確実な運用 「入学させてよかった」100%